

# 「デジタルアーカイブ in 郡上～白山文化はいいもんだ～」について

林 知代・久世 均

## 1. はじめに

平成 31 年 2 月 23 日に、「デジタルアーカイブ in ぎふ郡上～白山文化はいいもんだ～」を開催したので報告する。本シンポジウムは、本学が 2017 年度より取り組んでいる、文部科学省私立大学研究ブランディング事業「地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点形成のための基盤整備事業」の事業目的の一環である、郡上白山文化遺産のデジタルアーカイブと新たな観光資源の発掘を目的として開催した。

冒頭には、白鳥拝殿踊り保存会による“国選択無形民俗文化財”の「白鳥の拝殿踊」の実演から始まり、本学学長松川禮子氏、郡上市長の日置敏明氏にもご挨拶いただき華やかな始まりとなった。208名の参加者があり、非常に充実した会となった。



白鳥の拝殿踊」の実演の様子

## 2. 基調講演

基調講演として「文化遺産と記録」について国立科学博物館顧問・元文化庁長官・元文部科学省高等教育局長である佐々木正峰氏にお話いただいた。

佐々木氏からは、文化遺産とは何かという大きなお話から、地域の文化遺産、その継承、教育に関することまで踏み込んだお話を伺った。

また、最後にデジタルアーカイブの積極的な活動を行うことは前提として、関連するデータを幅広く蓄積をすること、多面的なデジタルアーカイブの構成というものを考えて

いくことが今後ますます重要になる、チャレンジ精神を持って積極的かつ意欲的に取り組みを進めていただきたいとの激励のお言葉をいただいた。



基調講演 佐々木正峰氏

### 3. シンポジウム

シンポジウムは、「デジタルアーカイブで地域の課題を解決できるか～白山文化を事例として～」をテーマに、郡上市文化財保護審議会委員の曾我孝司氏、郡上市教育委員会社会教育課の藤原洋氏、白山市教育委員会文化財保護課の小阪大氏、勝山市教育委員会世界遺産推進室の宝珍伸一郎氏、東京大学大学院特任教授の長丁光則氏にご登壇いただいた。また、コーディネータを久世がつとめた。それぞれ10分程度の持ち時間でテーマに沿ったお話をいただいた。



シンポジウムの様子

最初に、曾我氏より「白山芸能とデジタルアーカイブ」をテーマにお話いただいた。

曾我氏からは、まず白山の美しい画像をご提示いただき、白山の素晴らしさを教えていただいた。また、白山信仰とは、白山の神を農業の神、水分神としての信仰であり、白山文化圏では、白山の神に豊穡を祈願する白山芸能が生まれて、芸能を神に奉納するということが頻繁に行われている。それらの白山芸能をデジタルアーカイブしインターネットで情報発信していけば、かなり世に知られるようになるのではないかとご報告いただいた。

次に、藤原氏に「美濃馬場の文化財とその保存活用」をテーマにお話しをいただいた。

藤原氏からは、美濃馬場には大変多くの文化財があることをご紹介いただき、その修復や保存状況の事例をご紹介いただいた。人口減少や高齢化によって、文化財を守る地元の方の苦労は、大変な状況になってきていること。今後は、地域だけでなく地域の外の方や行政も一緒になって守っていけるような仕組みづくりが大事であることをご報告いただいた。

次に、小阪氏に、「加賀馬場と文化の再発見」をテーマにお話いただいた。

小阪氏からは、白山市の文化財についてその継承の現状と観光産業での活用の事例をあげてご紹介いただいた。白山麓は急激な過疎化が進んでおり、伝統芸能の継承には危機がある。一方で、伝統的建造物群や仏像などの有形文化財については、観光資源としての活用が成功している。独自性の高い白山文化の魅力を発信し、新たな文化財発見し、観光資源へ活用して地域に生かしていきたいとご報告いただいた。

次に、宝珍氏に、「越前馬場と文化財の保存活用」をテーマにお話いただいた。

宝珍氏からは1574年に焼き払われた平泉寺を中心としたでは越前馬場には、有形文化財は残っておらず遺跡になっている。美濃馬場側から見た白山とは、また違った白山の魅力についてお話いただいた。また、白山文化は水の信仰というのが平野部にも広がっていき

るので、三馬場だけでなく、平野部も関連づけて見ていかないと全体像が見えてこないのではないかとご報告いただいた。

最後に、長丁氏に、「地域資源デジタルアーカイブと地域活性化」をテーマにお話いただいた。

長丁氏からは、地域に情報をデジタル化して発信していく意義や、デジタル化をすること自体の意義についてお話いただいた。また、日本におけるデジタルアーカイブは東大や政府の体制の遅れがあり、現状では世界より遅れているが、これから経済の循環をつくって産業化していくことで、巻き返しをはかっているのでは是非みなさんにも応援してほしいとご提言いただいた。

シンポジウムは、パネラーのみなさんのご報告で時間が終わってしまったが、それぞれの異なる立場からの報告を伺うことができ、非常に充実した内容となった。

#### 4. 開催概要

日 時：平成 31 年 2 月 23 日（土）

時 間：13:00～16:30 受付 12:30

場 所：郡上市総合文化センター（〒501-4222 岐阜県郡上市八幡町島谷 207-1）

参加費：無料

主 催：岐阜女子大学

共 催：郡上市・郡上市教育委員会

後 援：デジタルアーカイブ学会・日本デジタルアーキビスト資格認定機構

郡上ケーブルテレビ放送センター

定 員：：200 名

内 容：（敬称略） 受付（12:30～13:00）

##### 1. 伝統文化芸能実演（13:00～13:30）

「白鳥の拝殿踊」（国選択無形民俗文化財）

##### 2. 挨拶（13:35～13:50）

松川 禮子氏（岐阜女子大学学長）

日置 敏明氏（郡上市長）

##### 3. 基調講演（13:55～14:45）

「文化遺産と記録」佐々木正峰氏（国立科学博物館顧問・元文化庁長官・元文部科学省高等教育局長）

##### 4. シンポジウム（15:00～16:30）

「デジタルアーカイブで地域の課題を解決できるか～白山文化を事例として～」

（パネリスト）

「白山芸能とデジタルアーカイブ」

曾我 孝司氏（郡上市文化財保護審議会委員）

「美濃馬場の文化財とその保存活用」

藤原 洋氏（郡上市教育委員会社会教育課）

「加賀馬場と文化の再発見」

小阪 大氏（白山市教育委員会文化材保護課）

「越前馬場と文化財の保存活用」

宝珍 伸一郎氏（勝山市教育委員会世界遺産推進室）

「地域資源デジタルアーカイブと地域活性化」長丁 光則氏（東京大学大学院特任教授）

（コーディネータ）久世 均氏（岐阜女子大学教授）



岐阜女子大学 私立大学研究ブランディング事業

# 白山文化は いいもんだ

デジタルアーカイブ ◆ぎふ郡上

平成31年  
日時 **2月23日(土)** 13:00~16:30  
(受付12:30)

場所 **郡上市総合文化センター**  
〒501-4222 岐阜県郡上市八幡町鳥谷207-1

- 1 伝統文化芸能実演 (13:00~13:30)  
白鳥の祥慶踊 (※掲載別冊「白山文化」)
- 2 挨拶 (13:35~13:50)  
松川 禮子氏(岐阜女子大学学長) 日置 敏明氏(郡上市長)
- 3 基調講演 (13:55~14:45)  
文化遺産と記録  
佐々木 正峰氏(国立科学博物館顧問・元文化庁長官・元文部科学省高等教育局長)
- 4 シンポジウム (15:00~16:30)  
デジタルアーカイブで地域の課題を解決できるか ~白山文化を事例として~  
◆パネリスト  
「白山芸能とデジタルアーカイブ」 曾我 孝司氏(郡上市文化財保護審議会委員)  
「越前馬場と文化財の保存活用」 宝珍 伸一郎氏(岐阜市教育委員会世界遺産推進室)  
「美濃馬場の文化財とその保存活用」 藤原 洋氏(郡上市教育委員会社会教育課)  
「地域資源デジタルアーカイブと地域活性化」 長丁 光則氏(東京大学大学院教授)  
「加賀馬場と文化の再発見」 小阪 大民氏(山市教育委員会文化財保護課)  
◆コーディネータ  
久世 均氏(岐阜女子大学)

参加費: 無料  
(申し込み・当日会場に申込書が必要です)  
定員 200名  
先着順

【主催】岐阜女子大学 【共催】郡上市、郡上市教育委員会  
【協賛】日本デジタルアーキビスト資格認定機構、郡上ケーブルテレビ放送センター

●お問合せ先：岐阜女子大学 デジタルアーカイブ専攻(TEL: 056-214-9341)※4世研究室